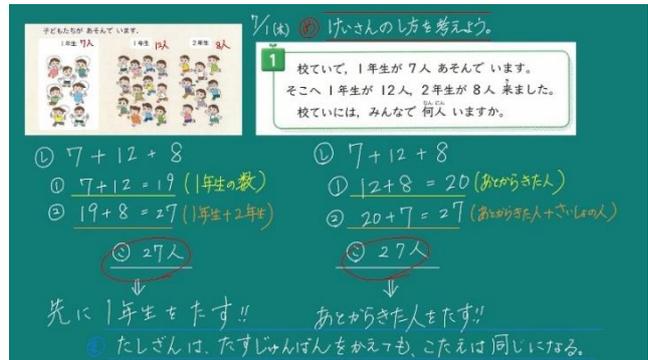
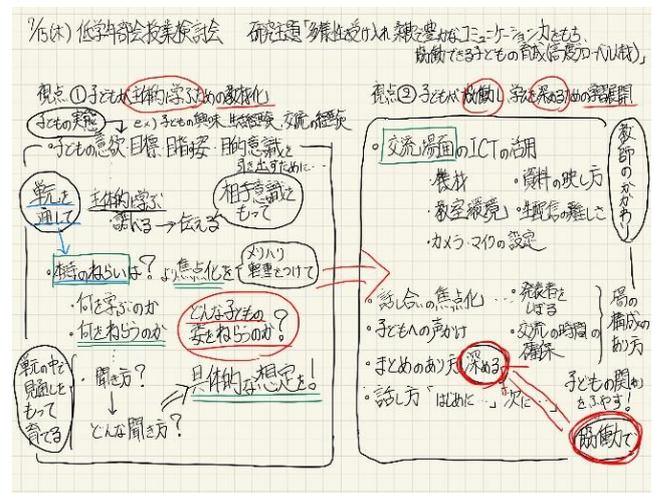
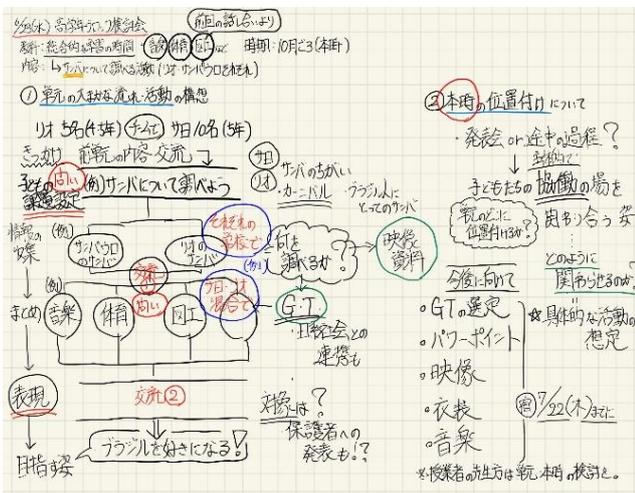


サンパウロ日本人学校

【タブレット端末におけるノートアプリの活用 ICT 活用の実践例】



授業時の活用例



校内会議や授業検討会等での活用例

- ・ZOOM 等オンライン授業・会議の際、タブレット端末とタッチペン、ノートアプリを活用することで、板書を再現することができる。授業中の子どもの学びの足跡を視覚化したり、会議の内容を記録したものをその場で共有したりすることができる。
- ・黒板に板書する以上のメリットとして、
  - ①記録したものを JPEG や PDF の形式ですぐに配信することが可能である。
  - ②操作を覚えれば、拡大・縮小や移動、図形の追加、教科書データ・web 資料・写真の添付等、その場でスムーズに行うことができる。
 といった点があげられる。
- ・近年、プレゼン作成ソフトにタッチペン等で手書きで書き込める機能も充実してきている。教師が作成したプレゼンテーションに、子どもの思考を書き加えることで、より子どもが主体的に学ぶことができたり、子どもがそれぞれの見方・考え方を働かせながら、学びを深める授業を展開することができる。